

議員説明会 会議録

1 開催日時

令和7年10月29日（水曜日） 午前10時00分 ～ 午前10時30分

2 件名

花巻球場の愛称命名及び施策の連携について

3 議事録

（岩間総合政策部長）

ただいまから、議員説明会を開催いたします。

本日の説明内容につきましては2項目ございます。

初めに1項目目花巻球場の愛称命名および施策の連携について生涯学習部スポーツ振興課担当よりご説明いたします。

初めに松田副市長よりお願いいたします。

（松田副市長）

1件目の花巻球場の愛称命名及び施策の連携についてご説明させていただきます。

この件につきましては私の方でも直接JALさん等とやり取りさせていただきましたので、その経緯等について私の方からご説明させていただきます。

まず今回の経緯でございますけれども、皆様ご存知のとおり、花巻東高校の周辺にはモニュメント等もあり、そして昨年はK. O. Hもオープンして、国内そして海外の方々も、結構見に来ていらっしゃるという状況です。そういった中で、せっかく野球に関する繋がりも多くの方にいらしていただいているそのすぐ隣に日居城野運動公園、そして花巻球場があるわけです。その花巻球場では、かつて菊池雄星投手や大谷翔平選手そして、西館勇陽投手とか、富士大学の選手が数々練習し、そして多くの試合を行った場所でもあるということもありまして、球場周辺にいらしている方々に、そういった花巻球場にも足を運んでもらえるようなものが何かないだろうかということを考えたのがスタートでございます。そういった方々を市内を周遊させるとか観光ルートというようなことについては、これまでも議会で取り上げていただいたこともございますので、何か花巻球場、また一つ野球のメッカでもないですけれども、そういった施設として位置づけられないだろうかというのが、最初の発想のところでございます。

そういった中で、JALさんが大谷選手とスポンサー契約といったようなものを結んでいるということから、JALさんは毎年、母の日のタペストリーとか、いろいろ市内にも花巻駅とかに掲示していただいているので、そういったような例えば大谷翔平選手の肖像等を使ったような物とかで花巻球場を盛り上げることはできないだろうかというようなことでお声かけさせていただいたのが、最初でございます。

結論から申しますと、ああいった肖像権はJALさんが契約しているからといってもやはりメジャーリーグやエージェントの方で管理されている関係上、本当に簡単な話ではないということで交渉の中そういったこともだんだんわかってまいりました。ただ何とかできないのかというような話の中で、JALさんの方からご提案いただきましたのが今日ご

説明する内容でございますけども、そういった肖像権というようなものを使ってのPRというのはちょっと難しいけれども、野球教室を開催したりとか、講演会をやったりとか、そういったようなことで、ご協力はできるんじゃないかというようなお話を頂戴したところでございます。

そういった内容となれば、花巻球場の付加価値といいますか、球場を活用して市民へのそういったイベント等による還元というのもできるんじゃないかなというふうに考えまして、そこを詰めてまいりまして本日ご説明する内容になっているということでございます。

これまで議員の皆さんからは、平成30年ごろでしたでしょうか、高橋修議員から、あとは令和6年でしたか鹿討議員からもネーミングライツの導入についてご質問をいただいております。その際には例えば、100万円とかの金額で、ある1社のPRするのを、そのバランスを考える必要があるんじゃないかというようなご答弁を市長の方からもさせていただいております。一方、今年の6月議会でしたか似内議員からもスポーツの産業化というようなご質問をいただきまして、その中でも、女子野球タウンに認定されたというようなこともあるので、そういった花巻球場のネーミングライツというのもちょっと考える価値はあるのかなというふうなことでも答弁差し上げておりますし、同じ日だと思っておりますけれども横田議員からも再質問の中で、そういった球場の価値なりを高めるような、そういった付加価値がつくようなネーミングライツであれば、検討をしていく必要があるというようなご答弁も差し上げているところでございます。

そういったことも踏まえまして、今回花巻球場について日本航空株式会社様とネーミングライツの契約を締結したいと言ったような経緯でございます。

以下細かくは担当の方からご説明させていただきます。

(岩間総合政策部長)

菅野生涯学習部長

(菅野生涯学習部長)

それでは資料に沿って説明させていただきます。

資料の2項目目、契約の主な内容ということで、初めに、契約の相手方は日本航空株式会社東北支社ということになります。

次に契約の締結日。11月4日ということで、委員会室で調印式を行う予定としてございます。

次に愛称名ですが、11月4日の本契約の調印式において発表するということで、この場では公表は控えさせていただきますので、ご了解いただきたいと思います。

なお、市条例で定めております正式名称は花巻球場ということで、そこに変更はございません。

次に契約期間ですけれども、一般的なネーミングライツは、3年から5年という形が多いのですが、今回は3年間ということで、令和7年11月4日から令和10年11月3日ということでございます。

次に、契約料ですが、契約の金額は他の自治体の例も参考にいたしまして、年額税別で100万円、消費税等を含めれば年110万円ということになります。

次に、施策の内容ということで、契約の中で命名権の他に定めていますが、双方が野球に関する技術の普及や競技レベルの向上、地域スポーツの活性化、交流人口の拡大等に資する施策を協力して実施するという内容でございます。

次に、看板の設置ですけれども、資料の裏面に球場の写真を載せておりますけれども、名標表示および広告看板を市が球場内に設置するという事で、球場の正面入口になりますが、現在花巻球場と書いている部分に愛称の名標表示を設置し、スコアボードの下のところにJALさんの広告看板を設置するというような形でございます。

次に、3項目にあります、期待される効果ということで、JALさんは大きな企業、著名な企業でございますが、その著名な企業が愛称を命名するという事で、注目を集めることによる球場の認知度や市の情報発信の向上、また、JALさんとの協力による施策の実施ということで、ここに施策の例ということで書いてございます。

例えばということになりますので、ご理解いただきたいと思います、JALさんの協力により著名なコーチを招聘してもらって野球教室、また指導者向けの講演会等の開催や、女子野球大会の開催の支援、また野球以外のスポーツ教室ということで、やり投げの北口榛花さんなどJALさんにはいろいろ著名な陸上選手も所属しているという事で、実際に子供たちがJALのTシャツを着て講習会みたいなものを行っているのを見たことがあります、花巻でもそういうものが実現できればと考えてございますし、またオフシーズンには野球以外で球場を活用したイベントの開催もJALさんの企画によって実施できればというように考えてございます。

また、次の着地型観光メニューの企画販売ということで、例えばJALさん企画の観光メニューの中に、花巻に来ていただいた方の二次交通費を市が助成するというようなパッケージツアーができないかという想定、また球場周辺の観光スポット化ということで、さっき副市長の方からも話がありましたけれども、球場周辺は、大谷翔平選手、菊地雄星投手のモニュメント、またK.O.Hということで既に観光地化してございますけれども、そこと連携する企画を考えて、さらに球場周辺に足を運んでもらうようなものをできればということで、これらはまだアイデアというようなレベルでございますけれども、今後具体的な内容については、JALさんと協議して決定していきたいと考えてございます。

次に、事業の背景ということで、背景については、先ほど副市長からも説明ございましたけれども、まずJALさんは空港所在地であり、本市とゆかりのある会社だということがございます。同社はスポーツや祭りなどを通じた地域の魅力掘り起こし、関係交流人口の創出に力を入れており、花巻東高校女子硬式野球部が昨年開催された女子野球全国大会で躍動する姿をきっかけに、女子硬式野球イーハトーブはなまき大会の特別協賛として、参画しています。また新聞にも載りましたけれども、本年10月21日には、ドジャース大谷選手を描いた黑板アートを花巻東高校の教室で、公開するというような企画も実施してございます。

一方、花巻市では、昨年11月に女子野球タウンの認定を受けまして、従来以上に関係機関や企業との連携を深め、今後の施策展開ということで検討していたところですが、地域スポーツへの支援を通じた活性化や交流人口の拡大を図ろうとする双方の目的が一致し、この度、連携契約ということになったところでございます。

JALさんにとっては、球場施設の命名権取得は初の試みということで、今回の愛称命

名をきっかけに、球場を含めた本市の知名度向上や各種イベント開催を通じた関係交流人口の拡大は、花巻市や周辺自治体にとっても大きな効果があると期待されるところでございます。

なお、同社は大谷翔平選手のほか、MLB、侍ジャパンとスポンサー契約を締結しているという実績もございます。

今後の予定になりますが、先ほどもお話ししましたように、11月4日に調印式ということで、その際に愛称を公表させていただきます。

契約期間中の連携施策については、具体的なイベント・施策について、今後協議して決めていくということになります。

また、看板等のお披露目は、チラシをお配りしておりますけれども、11月8日の女子硬式野球イーハトーブはなまき大会の際にお披露目する予定でございます。

この看板の話だけではなく、お話ししたように女子野球タウンということで応援する事業の一つとなっておりますので、ぜひ球場の方に足を運んでご覧いただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

説明については以上となります。

（岩間総合政策部長）

この内容につきましてご質問等ございましたら、挙手の上発言をお願いしたいと思います。

鹿討康弘議員

（鹿討康弘議員）

丁寧な説明ありがとうございます。本当に良かったと心から思っています。水を差すつもりは全くありません。

先ほど松田副市長の方からもお話ありましたとおり、以前は高橋修議員、そして私も3月の定例会ではネーミングライツに触れまして、その際には、先ほど説明があったように100万200万もらって、公共施設に民間の施設の名前を、冠をつけるのはあまり好まないっていうか、いかがなものかっていう話があったように記憶しております。ここに至った経緯、先ほどお話ありましたが、その以前から交渉していたのか、3月以前から、それとも3月以降はこういった交渉に至ったのかその辺ちょっと詳しく一つお聞きしたい。

（岩間総合政策部長）

松田副市長

（松田副市長）

交渉という面では今年に入ってからです。JALさんと交渉する中で、やっぱり一旦難しいんだなということで、実は私たちの方でも諦めかけていたところで、JALさんの方からそういったソフト面も含めて、野球教室だったり、いろいろと球場を活用したそういったご提案もいただいて検討する中で、単に維持管理費のために企業名を冠するより、むしろご提案いただいた事業の方が本来の姿なのかなというようなことで、球場の付加価値

といいますかそういったものを高めることができるというので、そういったものだったらむしろもっといいことなんじゃないかなというふうに考えたところです。

(岩間総合政策部長)

鹿討康弘議員

(鹿討康弘議員)

はい、ありがとうございます。

先ほどもね、説明がありましたように、空港所在地であるぞ。いい流れ、それでこれから愛称が公表されると思うんですが、JALという先ほども説明あったように、陸上の名門ということで知られております。そうしますと日居城野運動公園や陸上競技場もあります。また周辺には総合体育館もあるということになりますと、西地区の総合的な再開発といいますか、そういったことも今後は視野に入れて行くべきではないかなと、ちょっと思っているんですがその辺は今のところ、どのような考えですか。

(岩間総合政策部長)

松田副市長

(松田副市長)

日居城野運動公園自体に大きなお金をかけて、大規模に何か改修をするというのは、やはりちょっと事業の優先度からすると、難しいのかなというふうには思っております。ただ皆さんも1か月ぐらい前にテレビでご存知のとおり、先ほども部長が話しましたけれども、JALさんには数々のアスリート、やり投げやハードルの選手とかで、結構有名な方々がいて、JALさんの社員の方々がお揃いのシャツを着てスタンドで応援してるシーンが何度も放映されましたけども、そういった野球場に関わらず日居城野運動公園の施設を使って、例えば陸上教室みたいなものを開催できないかというようなことも考えております。

そこは実現するかどうかというのは別ですけれども、ただちょっと今のところ、陸上の公認認定の関係で来年はトラックの張替え等をやりますので、来年すぐできるかどうかというのは難しいかもしれませんが、そういったことはお願いしていきたいというふうには考えております。

(岩間総合政策部長)

鹿討康弘議員

(鹿討康弘議員)

最後に、これでいわゆるネーミングライツの高い壁が取り払われたということになりますと、例えば他のそういった施設、総合体育館また文化会館、そういったことへのネーミングライツの先例になると思いますので、今までそういったところも含めてですね、球場に限らず、垣根があって、壁が少し低くなったというふうに捉えてよろしいでしょうか。

(岩間総合政策部長)

松田副市長

(松田副市長)

以前にご答弁しているとおり維持管理のためにいくばくかのお金で、ある企業の知名度向上のために実施するようなネーミングライツを行うことは、以前の答弁と変わりはありませんが、ただ今回のように、さらに市の知名度を上げていただき、そして、様々な付加価値のあるような市民に還元できるような事業にも結びつくといったようなことであれば、そういったところはやはり、引き続き考えていきたいと思いますし、例えば総合体育館などは、特に球場のように野球だけじゃなくて、あらゆるスポーツ、大きなスポーツで、そしてかつ全国大会、場合によってはハンドボールアジア大会などを開催するような通年型の施設ですので、そういった付加価値みたいなものをかけ合わせて、検討していくことはあるかなと思います。

(岩間総合政策部長)

桜井肇議員

(桜井肇議員)

契約料は契約料といたしましても、一方、市が看板を設置するということですが、このお金の問題です。いくらぐらいの経費をかけて看板を作成するのでしょうか。

(岩間総合政策部長)

菅野生涯学習部長

(菅野生涯学習部長)

愛称の看板と広告の看板と合わせて150万円ほどを予定してございます。

(岩間総合政策部長)

桜井肇議員

(桜井肇議員)

それでは、くどいようですが、実質、市が50万円を負担するということですか。

(岩間総合政策部長)

菅野生涯学習部長

(菅野生涯学習部長)

ネーミングライツ料を単年で差し引きすれば50万円の負担ということになり、毎年、100万円ということで計算すれば1年半分で戻ってくるということにはなりますが、そういった差し引きではなくて、この連携を始めていくうえで、J A Lさんには年間100万円を負担

していただく、花巻市は負担として150万円で看板を設置してスタートしようというような考え方でございます。

（岩間総合政策部長）

佐々木精市議員

（佐々木精市議員）

説明ありがとうございました。とてもいい内容だと思います。こういった明るいニュースは、市民の方からもいろいろ質問等とかされると思います。私達もこういった形で市民の方々にまた宣伝して説明して行く機会も増えるかなと思ひまして、そこで説明するにあたって、愛称名の発表が11月4日ということも、愛称はもう決まっているのかなと思うんです。その愛称を決めるプロセス、こういった手順でお決めになったかということをお聞きしたいと思います。

（岩間総合政策部長）

菅野生涯学習部長

（菅野生涯学習部長）

命名権ですので、通常のネーミングライツ導入の際は、一般的には企業さんがつけるということになりますが、各市においてガイドライン等を作って、その中でどんなものをするように定めているところもあります。今回はそういう形ではやっておりませんので、JALさんの方からどういう感じがいいですかみたいなご相談を受けて、こちらから考えたものをお返しして、その上でJALさんが決定したというような流れになってございます。それで突飛なと言えは変ですけども、そういう感じのものではなくて、市に配慮いただいた愛称になったというように捉えてございます。

（岩間総合政策部長）

高橋修議員

（高橋修議員）

ご説明ありがとうございました。ちょっと確認ですけども、聞き漏らしたかもしれませんが今回のネーミングライツは、JALさんからの進言ではなく、市の方からネーミングライツどうですかということをお呼びかけたということで、JALさんに呼びかけたということよろしいですか。

（岩間総合政策部長）

松田副市長

（松田副市長）

先ほど経緯でもお話ししましたとおり、そういった市の方からなんていいですか、例え

ば大谷選手とか、そういったもので球場の魅力アップをできるようなものやっていた
けるのであれば、そういったネーミングライツというのもどうでしょうかというようなお
話で相談をさせていただきました。

(岩間総合政策部長)

高橋修議員

(高橋修議員)

この金額なんですけれども、私取り上げたときは、結構、状況が変わったと言えばそれ
までですけど当時は1,000万円以下であればやる意味がないということを言われた記憶も
あります。結構バツサリだったんですけれども、この100万円、あの岩銀とかだとスタジア
ム300万円とか、一番高いところで1,000万円以上ですね。この100万円に至った経緯につい
て伺います。

(岩間総合政策部長)

菅野生涯学習部長

(菅野生涯学習部長)

通常のネーミングライツですと、ネーミングライツ料をいただいて、施設の維持に充て
るということで歳入を目的としてやるものなんですけれども、今回は、これまで説明しました
ように、そういった歳入を当てにして維持補修に充てるといったものではなく、お互いに
協力しながら施策を進めていきたいと思いますということを目的にしておりますので、高い額を
市として求めたというわけではなくて、近隣の事例をもとにして、このくらいであればど
うですかと提示してJALさんと折り合ったというような形でございます。

(岩間総合政策部長)

高橋修議員

(高橋修議員)

そういう考えもあるんだと思うんですけれども、盛岡市さんの場合だと税外収入の部分
で当然歳入を意識してるし、私もそうであるべきだと思うんですよ。新たな外貨獲得とい
う部分で考えては、ちょっとそういう今の答弁であれば花巻市の場合は、盛岡市だと一番
安いのが10万円以下もありますけども、今後、盛岡市のように例えば盛岡市では文化ホー
ルとか、そういったところをもネーミングライツを公募していますけど、花巻市において
は、公募して今後、税外収入を増やしていくという考えのネーミングライツはないとい
うことですね。

(岩間総合政策部長)

菅野生涯学習部長

(菅野生涯学習部長)

ネーミングライツにつきましては、基本的なスタンスは先ほど副市長が言ったように、現状においては変わらないところですが、ネーミングライツについては、新しいスポーツ推進計画の中にも位置づけることを考えておりますので、今回でゴールというわけではなくて、やはり施設維持には私達もかなりお金がかかっているというところがありますので、そういった視点で考えていくというのは必要だと思います。その上でどういった形でネーミングライツを導入すればいいのかというところが大切になってくると思いますので、引き続き考えてまいりたいと思います。

(岩間総合政策部長)

その他、ございませんでしょうか。

それではないようでございますので、項目の一つ目、花巻球場の愛称命名及び施策の連携についての説明を終了させていただきます。